

郷土食スイーツクイズ

問3

行事に係る郷土食のお菓子について
()に当てはまるものを下から選びましょう。

4月8日はお釈迦様しゃかさまの誕生日で
花まつりが行われこの時に(①)を食べます。

お盆の時期になると四角く切った餅に、
きな粉と黒みつをかけた(②)が食べられます。

9月1日は「お八朔さん」と呼ばれ、
豊作を祈り(③)を神様にお供えしました。



信玄餅 あべかわもち おしゃかごり
うらじろまんじゅう 八朔はっさくの泣きまんじゅう

答えは11ページへ!!

行事食って？

昔から日本人は、普段の日と特別な日を使い分けており、ハレの日に食べる食事を「**行事食**」と言います。

ケの日
(普段の日)



ハレの日
(特別な日)



年中行事と郷土食スイーツ

おしゃかごり

主な地域:甲府市、甲州市勝沼地区

行事:4月8日の花まつり(お釈迦様の誕生日)

花まつりに作ってお供えし、村中でお寺へお参りし甘茶をいただいてから食べます。食べると智慧^{ちえ}がさずかるという言葉伝えがある地域もあります。大豆を混ぜてごり(固まり)に仕上げ、お釈迦様の頭に似せてごつごつ感をだしています。



八朔の泣きまんじゅう

主な地域:中北地域、峡南地域

行事:9月1日

9月1日はお八朔^{はっさく}さんと呼ばれ、豊作を祈り、災害がないようにこのまんじゅうを神様にお供えしました。この頃から農家が忙しくなり、嫁^{よめ}や奉公人にとっては苦勞の始まりであり「まんじゅうは食いたいし、夜なべは嫌だし」と言われ、この名前がつきました。



答え ① おしゃかごり ② あべかわもち ③ 八朔の泣きまんじゅう

あべかわもち

主な地域: 韮崎市、南アルプス市、北杜市、中央市

行事: お盆

山梨県では、もちにきな粉をまぶして黒みつをかけたものを「あべかわもち」と呼び、お盆に仏様にお供えて食べます。



静岡県にも「あべかわもち」がある!?

山梨県



あべかわもち

もちにきな粉をまぶし黒みつをかける

静岡県



安倍川もち

出典: 農水省Webサイト
(うちの郷土料理)

きな粉餅もちに白砂糖をかける

うらじろまんじゅう

主な地域: 甲州市大和地域

日当たりの良い山野に生息するキク科のオヤマボクチの葉を練り込んだまんじゅうで、甲州市大和町では、オヤマボクチの葉の裏が白いことから「うらじろまんじゅう」と呼んでいます。ヨモギとは違った風味があり人気のまんじゅうです。

